

- 令和2（2020）年7月、GIGAスクール構想や新学習指導要領の小学校全面実施を受け、今後想定される教育データの利活用の目的、方策等を議論する場として会議を設置し、これまで16回開催
- 令和3（2021）年3月、教育データの定義、目的、原則、視点などをまとめた上で、今後の論点を提示して一定のまとめ（論点整理（中間まとめ））
- 以後、ルール、ツール、利活用のそれぞれの事項で文科省や各自治体等の取組を共有しながら議論。
 - ➡ 新たな課題が多く広範な範囲を扱う教育データの議論で何をどう論ずべきかを中心に議論。
 - ➡ 各論点においてはそれぞれかなり深い専門的な議論が必要な状況。

ルール

教育データの標準化

教育データの利活用
にあたっての
安全・安心の確保

ツール

文科省CBTシステム
(MEXCBT)

学校調査システム
(EduSurvey)

利活用

教育データ分析の
実証研究

実証のためのデータ
基盤の構築

ルール（教育データの標準化等）

これまでの成果

教育データの標準化

- 本有識者会議の議論も踏まえ、文部科学省において誰が、何を、どうする等の定義を定め、教育データ標準を順次公表（デジタル庁GIFを踏まえ策定）
 - 令和2年10月 1.0（学習指導要領コード）
 - 令和2年12月 1.1（学校コード）
 - 令和3年12月 2.0（主体情報）
 - 令和4年3月 2.1（教育委員会コード）
 - 令和4年12月 3.0（主体情報、活動情報）

学習eポータル標準モデル

- 本有識者会議の議論も踏まえ、文科省委託事業において学習eポータルの機能要件、学習eポータルとMEXCBTの接続規格、学習eポータルと学習ツールの接続規格（学習eポータル標準モデル）を策定
- 令和5年3月に校務支援システム、デジタル教科書・教材等とのデータ連携を対象としたVer3.0を公表予定

教育データの利活用にあたっての安全・安心の確保

- 本有識者会議の議論も踏まえ、令和5年3月文部科学省が「教育データの利活用に係る留意事項（第1版）」を公表

今後の課題

教育データの標準化

- 活動情報の具体化等
(教育データ標準4.0、xAPI Japan Profileの策定等)

学習eポータル標準モデル

- 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境の構築に向けた持続可能なエコシステムの構築に向けた仕組みづくり（運用指針・要件、適合性評価等）

教育データの利活用にあたっての安全・安心の確保

- 具体的なユースケースや、セキュリティの観点、ELSI（倫理的・法的・社会課題）の観点等を踏まえた留意事項の更新



ツール（基盤的ツール開発・活用）

これまでの成果

MEXCBT

（文部科学省CBTシステム：メクビット）

- 文部科学省が開発した、児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム
- 令和2(2020)年度プロトタイプ開発、令和3(2021)年度全国展開、令和4(2022)年度ほぼ全ての自治体、約2.4万校、約820万人の児童生徒が登録（令和5年3月現在）
- 国や地方自治体等の公的機関等が作成した40,000問が活用可能
- R5年度全国学力・学習状況調査の中3英語「話すこと」において活用予定
- 地方自治体が独自に行う学力調査等における活用（令和4年度7自治体、5年度12自治体予定）

EduSurvey

（文部科学省WEB調査システム：エデュサーベイ）

- 教育委員会や学校等を対象とした調査において、クラウドで回答できる仕組みの導入
- 調査集計の迅速化、統合作業の削減で負担軽減
- 即時的な可視化・分析を行うことが可能
- 令和4（2022）年度から導入し、35調査を実施

今後の課題

MEXCBT

（文部科学省CBTシステム：メクビット）

- 全国学力・学習状況調査における実施規模拡大に向けた検討
- 高等教育や社会教育への展開
- 機能の充実（記述式自動採点システム、特別支援対応など）

EduSurvey

（文部科学省WEB調査システム：エデュサーベイ）

- R5年度は約100調査を実施予定
- さらなる活用の推進
- システムの改善、機能の充実（表形式の調査など）
- 回答データを活用し、即時的な可視化・分析を進める



利活用（教育データ研究・分析等）

これまでの成果

教育データ分析・利活用

- 教育データ利活用の目的、基本的な考え方をまとめ（中間まとめ「教育データの分析からアクションまで」）
- 本有識者会議において、諸外国の動向、Learning Analytics等の学術分野における状況、先進自治体・学校の状況の共有等
- 利活用を行う上で必要なアーキテクチャの実証研究の共有・議論
- 教育データ分析手法等の実証研究の成果の共有・議論（MEXCBTデータの分析の調査研究の共有等）
- 今後可能性が見込まれるデータ分析分野の検討（非構造化データの調査研究の共有等）

今後の課題

教育データ分析・利活用

- 学校現場、教育行政等において次の打ち手（アクション）に役立つ知見の集約、整理、体系化、普及の具体化
- 分析のためのデータモデルやデータ分析を行うための仕組みの具体化
- 利活用の前提としての安全・安心なルールや仕組み（※ルールと重複掲載）



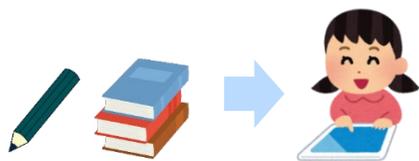
教育DXについて

教育DX：デジタル技術とデータを活用して、知見の共有と新たな教育価値の創出を目指す。

- まずは第1段階に集中的に取り組み、全国の学校の着実な電子化を徹底的に行う。
- 第2段階、第3段階にも、**将来的な構想を描きつつ、可能な部分から着手し**、試行やプロトタイプ開発等を行い全国的な仕組みにつなげていく。

第1段階 デジタイゼーション 電子化

標準モデルアプローチ
経験・勘による「属人知」



デジタル化で効率・効果的に
GIGAスクールによる1人1台端末整備等

第2段階 デジタイゼーション 最適化



ICT・データ活用による指導・教育
行政の改善・最適化

1人1台端末の効果的な活用
によるデータのフル活用

第3段階 デジタルトランスフォーメーション 新たな価値

「個別最適モデル」アプローチ
「集合知」の活用



学習モデルの構造等が質的に
変革し、**新たな価値を創出**

GIGAスクール構想によるICT環境整備等

デジタル教科書普及促進

大学等のデジタル化推進

①教育データの標準化（ルール）

②基盤的ツール（MEXCBT・EduSurvey）開発・活用（ツール）

③教育データ研究・分析等と現場への還元・新たな知見の活用

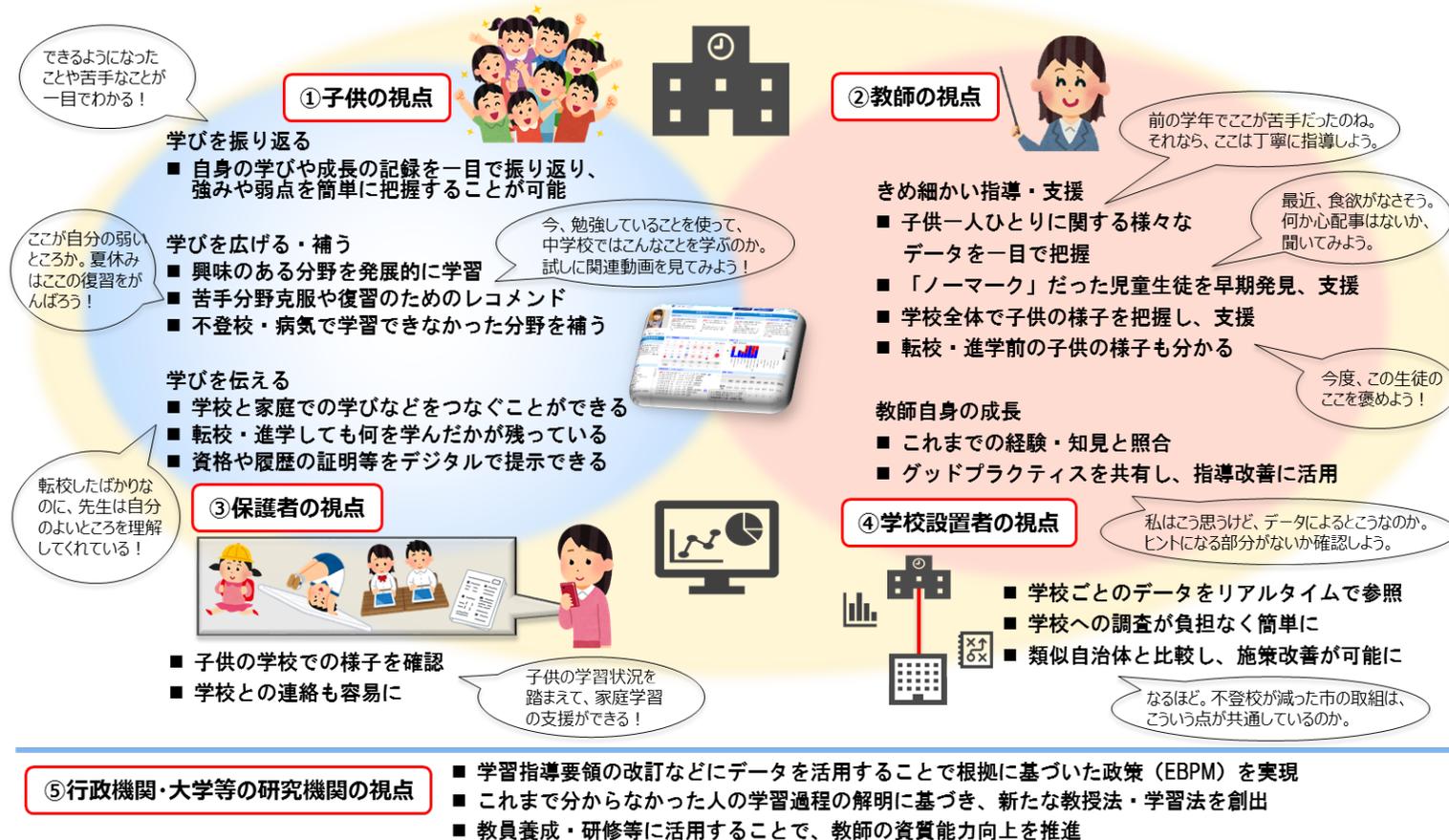
1. 教育データの定義

- 初等中等教育段階の学校教育における児童生徒（学習者）のデータが基本。
- ① 児童生徒（学習面：スタディ・ログ、生活・健康面：ライフ・ログ）
- ② 教師の指導・支援等（アシスト・ログ）
- ③ 学校・学校設置者（運営・行政データ）。
- 定量的データ（テストの点数等）だけでなく、定性的データ（成果物、主体的に学習に取り組む態度、教師の見取り等）も対象。

2. 教育データの利活用の原則

- (1) 教育・学習は、技術に優先すること
- (2) 最新・汎用的な技術を活用すること
- (3) 簡便かつ効果的な仕組みを目指すこと
- (4) 安全・安心を確保すること
- (5) スモールスタート・逐次改善していくこと

3. 教育データの利活用の目的（将来像の具体的イメージ）



4. 教育データの利活用の視点

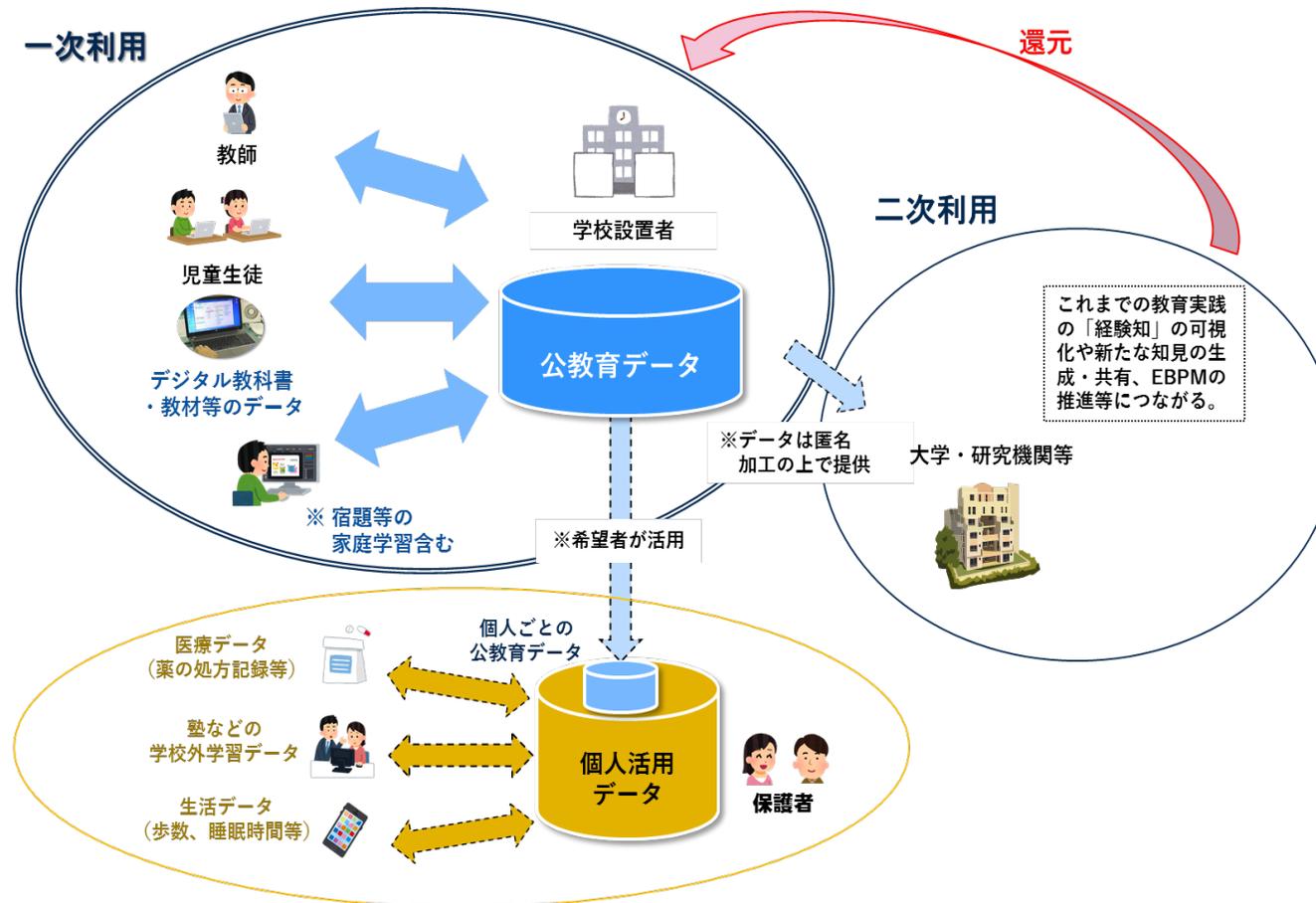
① 一次利用（現場実践目的）と二次利用（政策・研究目的）

- 一次利用：個々の児童生徒、特定の状況・場面等に応じて活用。
- 二次利用：全体の状況・傾向等を把握。
具体的な個人等を特定できる情報は用いない。

② 公教育データと個人活用データ

- 公教育データ：公教育の実施に必要なデータ。
- 個人活用データ：学校外のデータを含め、個人として活用していくデータ。
二次利用を含め、政府全体で検討を深める必要。

➡ GIGAスクール構想による1人1台環境の構築が進む中、まずは、全国の学校現場で公教育データの一次利用ができる環境の充実が急務。二次利用についても同時並行で検討・実施。



5. 学校現場における利活用（公教育データの一次利用）

- 各学校において、**便利に利活用できる仕組みの構築**が必要。
- 様々な教育データを相互に参照し合えることにより、**複数のコンテンツやシステムを円滑に使用できることが重要**。
- 正確な把握に基づく個別最適な対応を行う際、**多面的なデータの活用が有用**。
- 学校・自治体がデータを主体的に活用できるよう、**ユースケースを収集し、知見の共有を図るべき**。また、**支援体制の構築**や自治体間が**連携できるコミュニティづくり**が必要。
- **デジタル教科書・教材が連携し、他のデータと併せて活用できるようにするべき**。
- 学習ツールの窓口となる「**学習 e ポータル**」の**普及促進**を図るとともに、**ガバメントクラウド構想**等も踏まえつつ、**学校・自治体ごとのデータ集約の標準モデル構築**等が必要。

6. ビッグデータの利活用（公教育データの二次利用）

- 教育水準の向上には、**現場の実践や政策立案に資する、大規模な教育データ（ビッグデータ）の分析に基づいた評価・改善等**が必要。その際、**具体的な個人等を特定できる情報は用いない**。
- 児童生徒や教職員が**実際に活用するシーンから、必要な仕組みを検討**することが必要。
- 優れた教師の指導の可視化・定量化など、**学校現場が必要とするものをくみ取るとともに、効果的だったものが研究者にも伝わる双方向のルート確保**が重要。
- **データ利活用のポリシーに係る議論を進めるべき**。その際、**学習者本人が意図しない形での不利益な取扱い等がされないことが必要**。

7. 生涯を通じたデータ利活用（個人活用データ）

- **学びの連続性・継続性というメリットがある** 一方、**本人の望まない形でデータが流通・利用されることを懸念する声もある**。
- 希望する者が、公教育データだけではなく、**自身の様々な個人活用データを集約し、本人が自由に使えるようにすることで利便性が高まる**。
- 多様な分野の事業者等との間でデータを安全にやり取りする必要があるため、**政府全体において検討を深める必要**。

8. 教育データの標準化

- 教育データの相互運用性を確保するため、**データ内容・規格の標準化は不可欠**。
- 文部科学省「**教育データ標準**」の検討を**加速化**すべき。
- **国際標準規格に沿いつつ、我が国の実情に合う形で進めていくべき**。
- **活用結果を踏まえ、改訂・洗練していくことが求められる**。
- 大学をはじめ生涯を通じた学びにおけるデータ利活用を推進する観点から、**標準化の範囲拡大等に取り組む必要**。
- **デジタル教科書や様々な教材等で「学習指導要領コード」等を活用していくべき**。
- 児童生徒IDの在り方については、**技術の進展も見つつ、今後、具体的なユースケースをもとに検討が必要**。

教育データ利活用に関する有識者会議のこれまで（参考）①

趣旨

児童生徒1人1台端末環境の実現に向けた取組が進められる中、誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの力を最大限に引き出すことに資するよう、教育データの効果的な利活用を促進するために必要な方策について具体的な検討を行う「教育データの利活用に関する有識者会議」を設置する。

委員名簿

委員	座長	堀田 龍也	東北大学大学院情報科学研究科教授
	座長代理	藤村 裕一	鳴門教育大学大学院遠隔教育プログラム推進室長・教授
		梅屋 真一郎	株式会社野村総合研究所未来創発センター制度戦略研究室長
		緒方 広明	京都大学学術情報メディアセンター教授
		小崎 誠二	奈良教育大学教職大学院准教授
		佐藤 昌宏	デジタルハリウッド大学大学院教授・学長補佐
		三部 裕幸	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士
		白水 始	国立教育政策研究所初等中等教育研究部総括研究官
		高橋 純	東京学芸大学教育学部教授
		田村 恭久	上智大学理工学部教授
		戸ヶ崎 勤	戸田市教育委員会教育長
		中村めぐみ	つくば市教育委員会指導主事
		橋田 浩一	東京大学大学院情報理工学系研究科教授
	臨時委員		石井 夏生利
		神内 聡	兵庫教育大学大学院准教授・弁護士
		渡邊 雅之	弁護士法人三宅法律事務所 シニアパートナー弁護士

教育データ利活用に関する有識者会議のこれまで（参考）②

主な議題

第1回	令和2年7月7日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用に係る取組について<ul style="list-style-type: none">➢ 梅屋委員、緒方委員、小崎委員、佐藤委員、三部委員、白水委員、高橋委員、田村委員、戸ヶ崎委員、中村委員、橋田委員、藤村委員より発表教育データの利活用に係る留意点について➢ 教育データの標準化について報告
第2回	令和2年10月19日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 「教育データ標準」（第1版）の公表等について➢ 東工大清水教授より「NICER-LOMの概要と今後の支援システムの在り方について」➢ 小崎委員、戸ヶ崎委員、中村委員より教育データの利活用について
第3回	令和2年11月24日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 緒方委員、田村委員、白水委員より教育データの利活用について➢ JAPET&CEC、ICT CONNECT21、APPLIC、政府CIO補佐官より、教育データの標準化について
第4回	令和3年1月27日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 教育データの利活用に向けた最近の主な動向➢ 藤村委員より、教育再生実行会議デジタル化タスクフォースの議論について➢ 論点整理に向けて
第5回	令和3年3月19日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ GIGAスクール構想最新状況報告➢ 梅屋委員より、海外の教育ビッグデータの事例報告➢ 教育データの利活用に係る論点整理（中間まとめ）
第6回	令和3年12月23日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用に係る取組について<ul style="list-style-type: none">➢ デジタル庁より「教育データ利活用ロードマップ」検討状況➢ GIGAスクール構想、学習者用デジタル教科書、全国学力・学習状況調査のCBT化等の現状➢ 教育データ標準（第2版）

教育データ利活用に関する有識者会議のこれまで（参考）③

主な議題

第7回	令和4年2月21日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ デジタル庁より「教育データ利活用ロードマップ」➢ 教育データの分析・利活用に向けた取組状況➢ 中村委員、緒方委員、戸ヶ崎委員より教育データ分析・利活用に関する情報提供
第8回	令和4年4月11日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 教育情報システムに関する調査研究報告➢ デジタル庁より「こどもに関する各種データの関係について」➢ 尼崎市・大阪市より教育データの利活用事例発表➢ 渋谷区における教育データ利活用● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 論点を整理
第9回	令和4年5月31日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 高知県より「高知県学習支援プラットフォームの構築とスタディログを活用した個別最適な学びの実現について」➢ 教育データ分析事業報告➢ 非構造化データの活用事例に関する調査研究報告● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 個人情報保護委員会事務局より「令和3年改正個人情報保護法」➢ 小崎委員より学校の教員から見た個人情報の扱いに関する整理」➢ NTTコミュニケーションズより「教育データの取扱いに関する課題」➢ 神内委員より情報提供
第10回	令和4年6月24日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用に係る取組について<ul style="list-style-type: none">➢ 新潟市の学習eポータル活用➢ 京都大学緒方教授より「LEAFシステムの活用からみる今後の初等中等教育における教育データ利活用のあり方の提案」➢ 校務の情報化の在り方に関する専門家会議報告● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 留意事項に向けて

教育データ利活用に関する有識者会議のこれまで（参考）④

主な議題

第11回	令和4年8月5日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 鹿児島市の学習eポータル活用➢ 東京大学越塚教授より「学習・教育データの活用について」➢ 国立教育政策研究所白水研究官より「教育データの利活用の推進に関する報告」➢ デジタル庁より「こどもに関する情報・データ連携」について報告● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 他分野ガイドラインについての報告
第12回	令和4年9月5日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 渋谷区における教育データ利活用➢ 教育データ標準➢ 令和5年度概算要求について● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 留意事項構成イメージ➢ メールマガジンの意見募集結果
第13回	令和4年10月11日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ デジタル庁より「政府相互運用性フレームワーク（GIF）」について報告➢ 文部科学省WEB調査システム「EduSurvey」について● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 滋賀大学加納教授より「ELSI（倫理的・法的・社会的課題）について」➢ 留意事項（案）
第14回	令和4年11月14日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 群馬県における健康データ活用➢ 教育データ標準化事業報告➢ eポータル標準化事業報告➢ デジタル庁より「データ連携の実現に向けた実証調査研究」報告● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 留意事項（案）

教育データ利活用に関する有識者会議のこれまで（参考）⑤

主な議題

第15回	令和4年12月19日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 文部科学省教育データ標準3.0➢ アーキテクチャ事業報告➢ MEXCBTデータ利活用事業報告➢ 校務の情報化の在り方に関する専門家会議報告● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 留意事項（案）
第16回	令和5年2月6日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ eポータル専門家会議について報告➢ 緒方委員より「複数アプリの学習ログを用いた分析について」➢ 福岡県春日市より春日市通過テスト実施報告● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 留意事項の道行き
第17回	令和5年3月22日	<ul style="list-style-type: none">● 教育データの利活用の推進について<ul style="list-style-type: none">➢ 学校現場におけるMEXCBT活用● 教育データの利活用に係る留意点について<ul style="list-style-type: none">➢ 「教育データの利活用に係る留意事項（第1版）」報告➢ NII喜連川所長よりご発表